

環境にやさしい行動の実践例

いまや環境問題は、地球全体の問題になっていることが良くわかりました。森や林がなくならないように、世界の島々が海中に沈んでしまわないように、そして、わたしたちや地球上の全ての生き物が安心して暮らせるように、今、一人ひとりが自分でできることから環境にやさしい行動をはじめることがたいせつなんです。

ここでは、みんなにもできそうな「わたしのチャレンジ宣言」の一部を紹介します。



シャワーの使用時間を1日1分間短くすると

CO₂が **-74g**

食器などを洗う給湯器のお湯の温度を低く設定すると

CO₂が **-29g**

冷蔵庫の中に物を詰めこみ過ぎないと

CO₂が **-18g**

出かけるときや寝るとき、電気機器の主電源をこまめに切って、待機電力を節約すると

CO₂が **-65g**

夏の冷房の設定温度を26℃から28℃に2℃高くすると

CO₂が **-83g**

冬の暖房の設定温度を22℃から20℃に2℃低くすると

CO₂が **-96g**

買いもの時はマイバッグを持ち歩き、お店で包装の少ない商品を選ぶと

CO₂が **-62g**

ゴミの分別を徹底し、廃プラスチックをリサイクルすると

CO₂が **-52g**

※ 1人1日当たりの二酸化炭素削減量です。

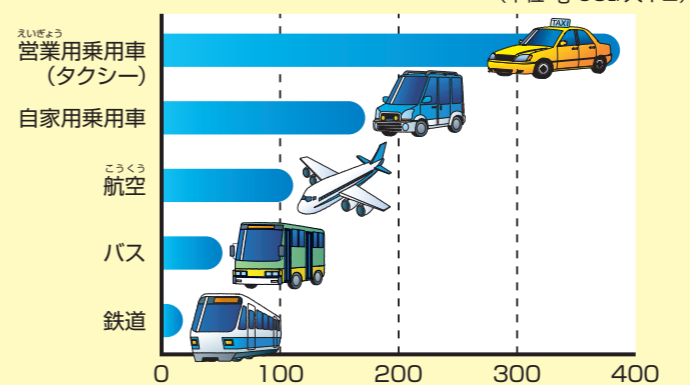
※「わたしのチャレンジ宣言」は、みんなの身近なところで行える温暖化防止のメニューの中から「実践してみよう」と思うものを選んで、毎日の生活の中で1人1日1kgの二酸化炭素排出量削減をめざそう、という取り組みです。現在、国民1人あたりが家庭から排出する二酸化炭素量は、1日平均で約6kgです。京都議定書で約束した6%の削減目標を実現するためにできることから実践しましょう。

(<http://www.team-6.jp/try-1kg/> 携帯の方は[こちら](http://www.team-6.jp/mobile/) www.team-6.jp/mobile/)

出かけるとき

交通機関別の二酸化炭素の排出量 (2007年度)

● 1人1kg運ぶのに排出する二酸化炭素の量 (単位: g-CO₂/人キロ)



出かけるときは、バスや鉄道など公共交通機関を利用すると環境にやさしいです。

